

やまなし県議会だより



雪害対策の追加補正予算案を審議する2月定例県議会

二月定例会の概要

平成二十六年二月定例県議会は、大雪の影響で会期を見直し、二月十九日から三月二十日までの三十日間の日程で開かれました。

平成二十六年度の一般会計当初予算案などが提出され、横内正明知事は、山梨を元気にする四つのアクションとして①富士山の保全及び安全対策②リニア中央新幹線開業に向けた取り組み③高速道路の整備④東京オリンピック・パラリンピックを契機とした地域振興を進めていく考えを明らかにしました。

また、大雪による被害が深刻化しているため、農業施設の復旧などに必要な予算を追加提案し、災害対応に取り組んでいく考えを強調しました。

知事の説明を受けて、二月二十四日から二十七日までの四日間、代表・一般質問が行われました。代表質問には自民党・県民クラブの白井成夫氏、自由民主党・創明会の清水武則氏、フォーラム未来の高木晴雄氏が登壇。一般質問には、白壁賢一、山田一功、桜本広樹、遠藤浩、（いずれも自民党・県民クラブ）、久保田松幸、大柴邦彦、早川浩、永井学（いずれも自由民主党・創明会）、安本美紀（公明党）、小越智子（日本共産党）、水岸富美男（無所属）の各氏が登壇しました。（詳細は二～四面）

さらに、二月二十七日には、雪害対策のため追加提案された一般会計補正予算案の集中審議が行われ、白井成夫、保延実（自由民主党・創明会）、土橋亨（フォーラム未来）、安本美紀、小越智子の各氏が登壇しました。（詳細は三面）

また、会期中に予算特別委員会を開き、当初予算案の審査を行いました。二月二十七、二十八日、三月五、六日には、総務、教育厚生、農政産業観光、土木森林環境の四常任委員会が開かれ、予算特別委員会から調査依頼があった議案や付託議案、所管事項の審査を行いました。

定例会最終日の三月二十日には、総額四千五百九十億八千六百七十三万円の一般会計当初予算案など七十二案件を可決、同意しました。

また、各常任委員会委員の任期満了に伴い、議長から新委員が指名され、新しい正副委員長を選任しました。

新たに副議長を選出

今定例会では、副議長に土橋亨氏（フォーラム未来、甲府市）を新たに選出しました。

土橋亨副議長略歴



市立甲府商業高等学校卒業
平成十九年四月県議会議員初当選、以来二期連続当選。
県議会教育厚生委員長、同副委員長を歴任。
甲府市善光寺三十三四一七
六十一歳

山梨県議会雪害対策本部を設置

観測史上最大の豪雪により、県内各地において鉄道や道路など交通網が寸断され、農業施設の損壊などの大きな被害が発生したため、二月二十日に棚本邦由議長を本部長とする「山梨県議会雪害対策本部」を設置し、政府や県の対策本部と一体となって被害の全容把握と早期復旧に、全力を挙げて取り組みました。

また、二月二十七日には、追加提案された雪害対策の補正予算案を迅速に審議し可決しました。



県議会トピックス

第43回信玄公祭りに参加



山梨県議会では、世界一の武者行列「信玄公祭り」に議員各自が参加費用を全額持ち合い、3年連続で参加しました。

県議会議事堂前に設けた陣屋では、高野剛、浅川力三、棚本邦由、石井脩徳、望月勝、河西敏郎、白壁賢一、山田一功、塩澤浩、桜本広樹、杉山肇、遠藤浩、樋口雄一、土橋亨、高木晴雄、飯島修、小越智子、水岸富美男の各議員がよい姿で、訪れた観光客に観光パンフレットを配ったり、記念撮影を行うなど、交流を図りました。

政策立案特別検討会議を開催

県議会のさらなる政策立案機能の充実・強化を図るため、政策条例や議会が行う政策提言の対象とすべき事項の調査、課題の設定等に対応できる常設の組織として新たに設置された「政策立案特別検討会議」が4月21日に開催され、今年度、対象とすべき政策提言項目を決定しました。